

公民館・児童館・図書館スタッフのビブリオバトル結果発表

第一回チャンプ本は……

『逃げてゆく水平線』973/ピ/

ロベルト・ピウミーニ/著 に決定しました！

この本はイタリアの児童文学作家にして、詩人であるピウミーニの短編集です。農場の家畜達の渋滞を防ぐために設置された信号機と、赤色に反応してしまう猛牛の決闘と友情を描いた「闘牛士になった信号機」など、ユーモラスな話が多く収録されています。売り物の帽子に不満ばかり言う紳士に、帽子屋が一言「頭の方を変えてみるのは？」と提案すると、店から出てきた紳士の姿は……という「頭と帽子」のようなブラックな物語もあります。

決勝進出本もご紹介いたします！

『十角館の殺人』綾辻行人/著 913.6/A/

挑戦的な本格派ミステリ。ミステリファンは登場人物達のあだ名に、にやりとしてしまうかも。

『Run! Run! Run!』桂望実/著 913.6/カ/

爽やかなだけではないストーリー。けれども、読み終ると走りたくなるお話です。

『大崎梢リクエスト！本屋さんのアンソロジー』

大崎梢/著他 B913.68/オ/

新刊書店を舞台にした短編小説集。紹介した一篇「夫のお弁当箱に石をつめた奥さんの話」についてディスカッションタイムで盛り上がりました。

『里山資本主義』藻谷浩介/著 S332.107/サ/

里山を資産と捉える新しい地域経済活性化のヒントが詰まっています。

年末年始のお知らせ

所沢図書館の年末年始の休館日は

12月29日(木)
～1月4日(水)

となっております。
ご不便をおかけいたしますが、
何卒よろしくお願い致します。

傘のお貸出しについて

図書館から帰ろうとした時、
突然の雨に降られてしまった
……という時は、図書館カウ
ンターのスタッフにお声かけ
ください。**リサイクル傘をお
貸しいたします。**傘は後日、
お近くの公共施設へご返却
ください。

閉館時の返却について

緑町中央公園の向いにある児
童館側駐輪場の壁沿いに返却
口がありますので、閉館時は
そちらにお入れください。

視聴覚資料や他の市町村から
借り受けた本は直接カウンタ
ーまでご返却下さい。

編集後記

今回は9月に行われた図書館寄席と11月に開催された図書館まつりについてレポートしています。図書館まつりには沢山の方にご来場いただき誠にありがとうございました！

所沢図書館では落語の本やCDを所蔵しています。図書館寄席の記事を見て興味を持たれた方はぜひ図書館スタッフまでお尋ねください。秋から冬に移り変わり、冷え込む季節になりました。お部屋でじっくりと読書をするのも楽しいですね。

読むトコ 第5巻第3号

編集・発行：所沢市立所沢図書館新所沢分館

発行日：2016年12月20日

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905

開館時間

火曜から金曜 9時半～21時

土日祝日 9時半～17時

休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日

指定管理者 株式会社ヴィアックス



所沢市立所沢図書館新所沢分館 図書館だより

読むトコ



第5巻 第3号 (2016.12)

図書館寄席 in 新所沢

9月10日(土)14時から新所沢まちづくりセンターのホールにおいて、「図書館寄席 in 新所沢」を開催しました。昨年に引き続き入船亭小辰さんが来てくださいました。小辰さんもお客様も慣れた様子で、すつと寄席の世界に入っていました。今年の演目はご存知『目黒のさんま』と『転宅』。さすがはプロ。知っている話なのに場内は大爆笑です。落語を初めて生で聞いた方も、寄席が好きでいろいろな場所で聞いている方もそれぞれ満足していただけようです。



たくさんの声が寄せられました

☆初めての寄席でしたが、わかりやすかった。

☆久しぶりにじっくりと落語を聞いて楽しかった。

☆親しみやすいおはなしを選んで頂き、ありがとうございました。(落語のくわしいことは全くわかりませんので……)時間も丁度良かったです。

☆最近笑点などで落語の話題が多く、興味があってもなかなか聞く事ができなかったもので、生で聞く事ができ、とてもよかったです。次の機会にも是非希望したい。

☆内容も話し方、振り、すばらしかったです。所沢分館でも聞き、新所沢は2回です。進化していますよ、頑張ってください。

☆初めて寄席を生で聞きました。最後は話に引き込まれて、大変面白かったです。また、次回ありましたら参加したいと思います。

☆寄席の醍醐味を堪能できました。

ボランティアさんインタビュー



新所沢分館では、おはなし会で絵本の読み聞かせなどして下さる5名の読み聞かせボランティアさんが活動中です。今回は鴻巣恵美子さんにお話を伺いました。



ボランティアを始められたきっかけは？ 勉強会などありますか？

9年前に本館で絵本の読み聞かせ講座があり、受講したのがきっかけです。毎月、読み聞かせの勉強会に参加し、他のボランティアの方たちと絵本の選書や読み方についてなどを学び合っています。

4年前には本館の図書館まつりで紙芝居を知り、「所沢紙芝居の会」を立ち上げました。

現在ではボランティアをきっかけにして出会った仲間たちと図書館以外の場所でも読み聞かせの活動をしています。

ボランティアをはじめたときと現在で子どもたちへの接し方の変化はありますか？

始めた当初は読むだけで精一杯で読み終るまでドキドキしていましたが、最近では、子どもたちの様子をみる余裕が出てきて、子どもたちとコミュニケーションをとりながら絵本や紙芝居を紹介することができるようになりました。最近、太鼓が出てくる紙芝居を読んだので実際に太鼓をたたいて紹介したのですが、おはなし会が終わった後に太鼓をたたきたいと子どもたちが集まってきて盛り上がりました。読んだ本を借りていく姿がみられることもあり嬉しいです。

紙芝居の会について

みどり児童館で月に一度「紙芝居の会」を行っています。新所沢分館でも中平順子先生なかつらよしこの紙芝居の講座を受講した関係で、「新所沢かみしばい隊」として活動もしています。新所沢分館の「かみしばい隊」として市民活動支援センターで出張紙芝居の会を行いました。歩いて5分しか離れていない施設でも子どもたちが紙芝居に慣れていないこともあり、逆にいつもとは反応が違って面白かったです。

鴻巣さんは、新所沢分館以外でも読み聞かせの活動をされ、今年からはみどり児童館での「紙芝居の会」を行うなど、ますます活動場をひろげられ、ライフワークとして「ボランティア活動」があるとおっしゃっています。これからもどうぞよろしくお願いいたします！！

Reference

事典・年鑑・白書など調べ物用の資料、いわゆる「参考資料」は、レファレンスを進めていくなかで欠かせない原動機エンジンです。多くは貸出禁止ですが、価値ある一冊も多いので、ぜひ一度手にとってみてください。



Engine

『丸善単位の辞典』

二村隆夫/監修 丸善 R/609.033/マ/ 2002年

「単位」は日常会話や学術文書など、あらゆる場面で耳にし、目にします。主役として目立つ存在ではないかもしれませんが、私たちの理解を助けてくれる欠くことのできない存在です。改訂を経て、大幅に項目を増やした本書に収録された「単位」は非常に網羅的で、その分野は多岐にわたります。

巻末付録には、実用性はもとより好奇心をくすぐる知識が満載。単位換算表や助数詞一覧の利便性の高さも魅力ですが、塵劫記じんこうきのなかの「大かすの名のこと」に懐かしさを覚える方もいるのでは？ 「一、十、百、千、万、億、兆、京、垓～那由多、不可思議、無量大数」の数え方。同書によれば、無量大数は10⁸⁸に相当するそうです。

調べて便利、眺めて楽しい一冊です。



図書館入口付近
エレベータ横
にて掲示

「図書館員のおすすめ本対決!？」

図書館まつりで毎年開催しているこの対決。今年も10月にスタッフ全員で前哨戦を行い、図書館まつりではその上位5名による決選投票を行いました。

☆結果発表☆

第1位 「ガラスの街」ポール・オースター/著 新潮社
(総数 35票)

多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。

「新所沢分館年間行事 2015・2016」

新所沢分館で行われた年間行事を当時の募集ポスターで振り返りました。今後の予定や定期的に行われるおはなし会などについても掲示しました。

図書館 まつり

11月12日・13日

「大人の図書館見学ツアー」

★ツアー内容

座学 『シリーズ予約について』
見学 返却ポスト、書庫、事務室
質疑応答、修理体験(希望者のみ)

ご参加くださった皆さまありがとうございました。

新所沢分館では、図書館のより良い利用につなげられるようなツアーを目指しています。

ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお声がけください。

返却ポストのウラ側



「公民館・図書館・児童館スタッフによるビブリオバトル 新所沢まちせんカップ」

ビブリオバトルとは、好きな本を紹介し合い、一番読みたくなった本を全員の投票で決める“本の紹介コミュニケーションゲーム”です。

今回は公民館・図書館・児童館のスタッフが発表者となり、投票に参加していただく観覧者の募集をしました。次回はぜひ発表者の募集をしたいと考えております。

「ブックリサイクル」

恒例のリサイクル本大放出!!
たくさんの方にお立ち寄りいただき
ありがとうございました。

